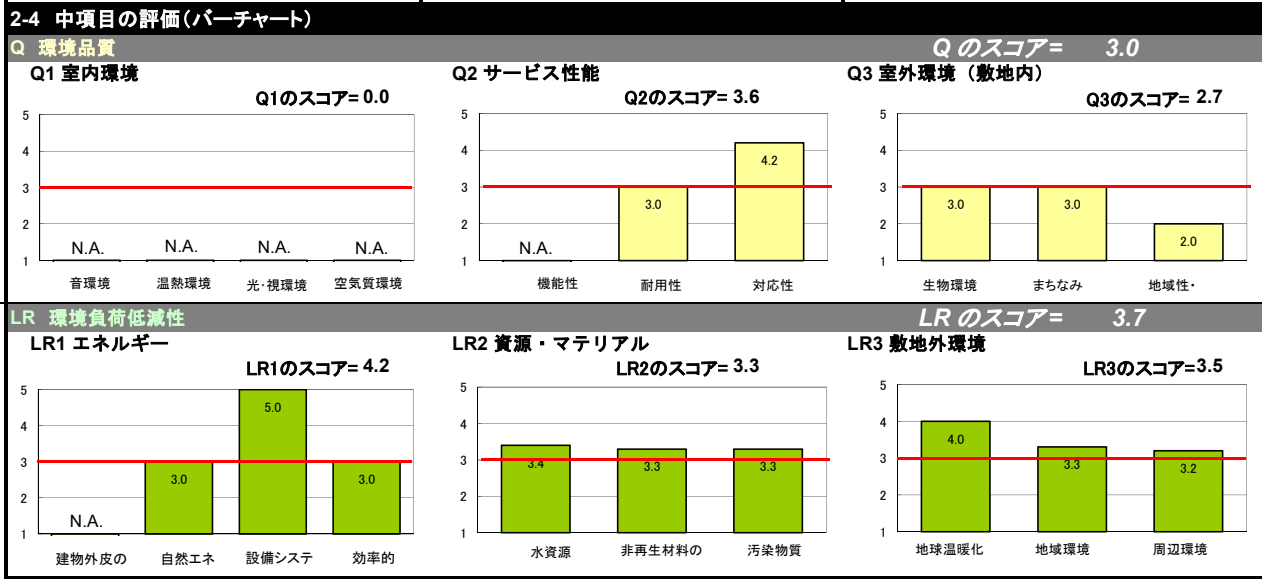
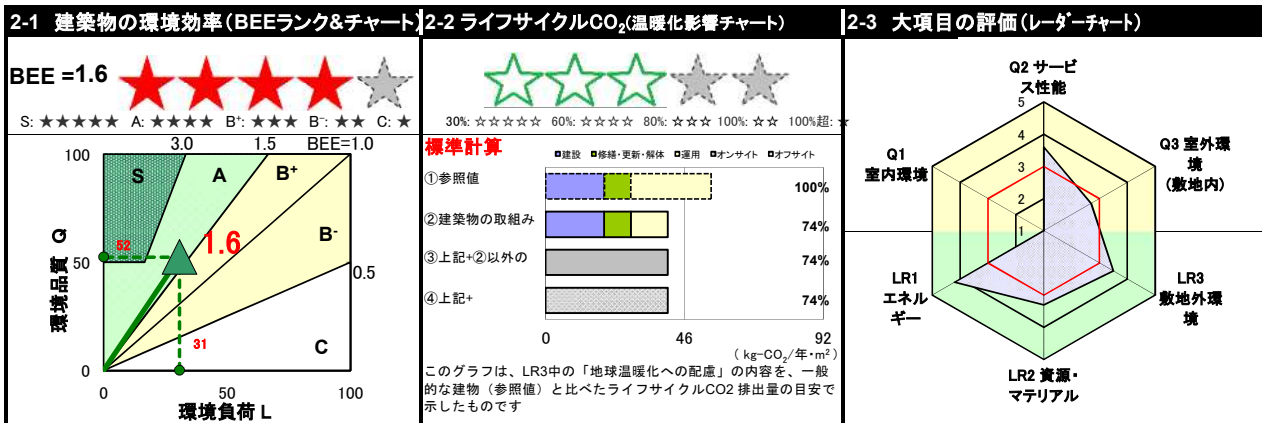


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚大神ロンスティクスセンター新築工事	階数	地上4F
建設地	平塚市大神ツインシティ大神地区土地区画 整理事業地内3-3街区3-4街区	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	160人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年11月 予定	評価の実施日	2020年8月5日
敷地面積	10,528 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)東京建築一級建築士事務所
建築面積	5,637 m ²	確認日	2020年8月7日
延床面積	21,355 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)東京建築一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
JR平塚駅からバス約40分の準工業地域での地区画整理事業に、倉庫単一用途のロンスティクスセンターを計画した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
0	耐用年数の長い配管材を使用し長寿命化を図っている。階高は3.9m以上を確保し、壁長さ比率<0.1として、設備・空間の「ランニング」の自由度が極めて高い設計とした。	0
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BEIm=0.46、LED照明設備の導入。	自動水栓に加えて節水型便器も採用。再利用可能な部材を使用。	燃焼機器を使用しないことで、大気汚染を防止。屋内外の照明、広告物照明の光害対策を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される